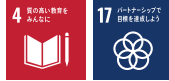


# A11



省庁や財団、研究所などでは、環境問題やSDGsに関連する様々なプロジェクトが進行中です。プロジェクトや参加団体の活動に参加することで、地域の身近な環境課題の発見や理解、課題の解決につながります。これらのプロジェクトは、地域や全国の人々と力を合わせて進めるため、活動や結果の共有なども含めて、広い視野の育成にも寄与します。

## ●環境省「東京湾環境一斉調査」

平成20年度から国や自治体のほか、企業や市民団体等の参加を募り、東京湾環境一斉調査（東京湾及び流入河川の環境一斉調査）を実施しています。本調査は、多様な主体が協働しモニタリングを実施することにより、国民・流域住民の東京湾再生への関心の醸成を図るほか、東京湾とその関係する陸域の水質環境の把握及び汚濁メカニズムの解明等を目的としています。

### (1)水質調査

海域：水温、塩分、溶存酸素（DO）、化学的酸素要求量（COD）、透明度

陸域：水温、流量、溶存酸素（DO）、化学的酸素要求量（COD）、透明度

### (2)生物調査

底生生物、魚類など各参加機関が実施する生物調査データを収集

### (3)水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベントの実施

[https://www.env.go.jp/water/heisa/tokyo\\_wqs.html](https://www.env.go.jp/water/heisa/tokyo_wqs.html)

## ●国立環境研究所「NIES生物季節モニタリング」

2021年度に国立環境研究所（NIES）が気象庁・環境省との連携・協力のもと開始した調査で、植物の開花や鳥の初鳴きなどの生物の季節的な反応（生物季節現象）を全国の市民調査員と連携して長期的に観測するプログラムです。現在、生物季節と一緒に調査する調査員を募集しています。

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/ccca/monitoring/phenology/index.html>

紹介動画：<https://www.youtube.com/watch?v=byEPjwJlhY>

## ●環境省「つなげよう、支えよう、森里川海プロジェクト」

このプロジェクトは国民全体で「自然資源（森里川海）を豊かに保ち、その恵みを引き出すこと」「一人一人が、森里川海の恵みを支える社会をつくること」を目指しています。「森里川海を保全・再生し、都市部に住む人たちも含めて国民全体で森里川海の保全とそれに関わる人たちをつなげて、支えていく」プロジェクトです。2023年10月現在、600以上の団体が賛同し、全国で様々なアクションを起こしています。

<https://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/index.html>  
(活動報告：<https://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/activityreport.html>)

## ●環境省「モニタリングサイト1000」

環境省では、日本の複雑で多様な生態系の劣化をいち早く捉え、適切に生物多様性の保全へつなげることを目的として、2003年に「モニタリングサイト1000」事業を始めました。モニタリングサイト1000は、全国に1000か所以上の調査サイトを設置し、100年以上モニタリングを継続して基礎的な環境情報を長期にわたって収集することで、日本の自然環境の質的・量的な劣化を早期に把握することを目的としています。

サイトリストで身近なモニタリングサイトを探してみましょう。

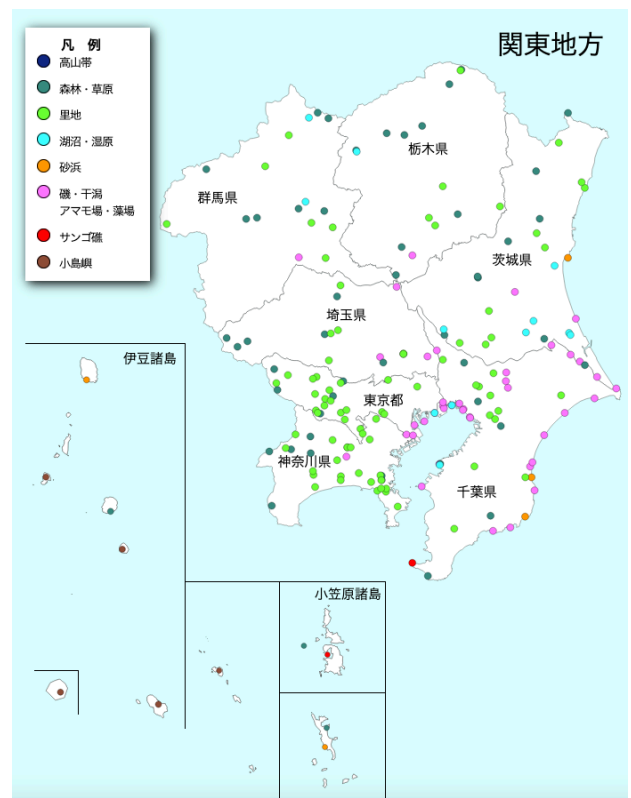
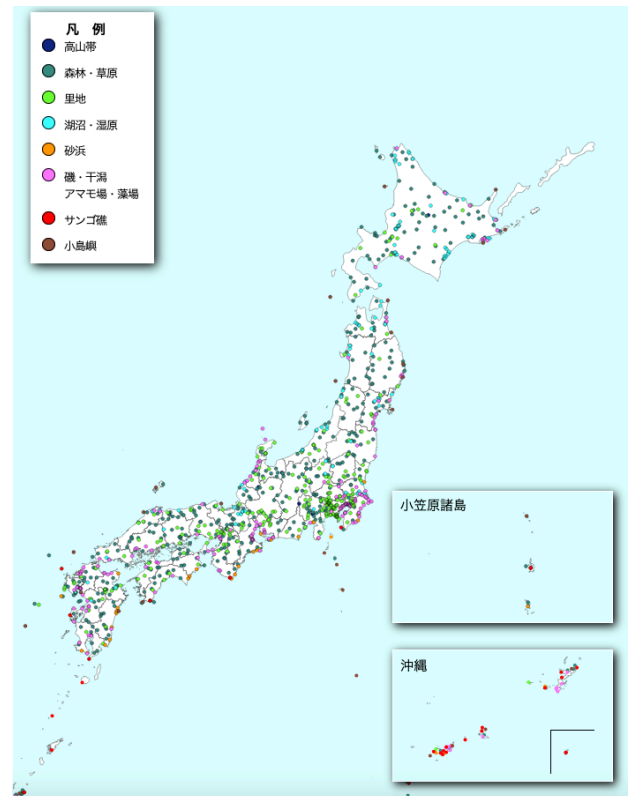
<https://www.biodic.go.jp/moni1000/>

## ●環境省「ウォータープロジェクト」

人と水との関わりを考え、産官学民等の多様な主体の連携による良好な水環境の活用・保全を通じて、持続可能な地域社会の実現を目指す取組です。2023年10月現在、400以上の企業や団体、研究所などが参加し、様々な活動を実施しています。

<https://www.env.go.jp/water/project/>

事例紹介：<https://www.env.go.jp/water/project/example/>



日本と関東地方のモニタリングサイト

## ●日本財団×環境省「海と日本PROJECT」

2つのプロジェクト「海ごみゼロウィーク」「海ごみゼロアワード」を全国で連動し現象化していき、世界へ発信しています。「海ごみゼロウィーク」は、海洋ごみ削減に向けた全国での清掃活動で、年2回春と秋に実施されています。グローブスクールでは、京都府立海洋高等学校・京都府立綾部高等学校が参加しています。

「海洋ごみ対策プロジェクト」

<https://uminohi.jp/umigomi/projects/env.html>

・京都府立海洋高等学校海洋科学科の活動報告 |

海ごみゼロウィーク (uminohi.jp)

・京都府立綾部高等学校の活動報告 | 海ごみゼロウィーク (uminohi.jp)

## ●東京大学×日本財団「OMNI マイクロプラスチック」

OMNIは、東京大学生産技術研究所 DLX Design Labが行っているコミュニティを巻き込み更なる新しい海洋計測の方法を探り、発展させる市民参加型大規模海洋観測ネットワークです。そのOMNIプロジェクトの中のマイクロプラスチックに関する市民参加型科学研究が「OMNI マイクロプラスチック」です。

近年国際的な問題になりつつあるマイクロプラスチック。目に見えない海洋マイクロプラスチックの問題を考えていく、誰もが参加できる市民参加型のマイクロプラスチックの調査研究プロジェクトです。

<https://www.omni-mp.designlab.ac/>

## ●東京都小金井市「ハチドリプロジェクト」

小金井市教育委員会では、小金井市気候非常事態宣言を受けて、環境教育を含めた『社会の問題を「自分事化」する教育活動』の充実を図っています。児童・生徒自らが、自分にできる環境を守るための取組を考え、実践し、その内容の発表・発信・交流を通して、自ら考え、取り組もうとする気持ちや姿勢を醸成することで、これからの社会の変化に対応し、社会の形成に主体的に参画できる資質・能力の育成を目指しています。

身近な地域でもこのようなプロジェクトがないか調べてみましょう！

<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~globe/observ/PDF/L02.pdf>

事例紹介

・第一中学校：生徒会活動 |

小金井市立小金井第一中学校 (koganei.ed.jp)

・第二中学校：生活・キャリア教育 |

小金井市立小金井第二中学校 (koganei.ed.jp)

・東中学校：R4(2022)東中学校ハチドリプロジェクト動画

・緑中学校：生徒会・委員会・評議員会 |

小金井市立緑中学校 (koganei.ed.jp)

・南中学校：<https://minami-js.koganei.ed.jp/edu-act/st-council/>